

日本の登山人口は2009年の約1230万人をピークに減少を続け、2023年に約480万人にまで減りました。ところが山岳遭難は約750人だった1990年ごろを境に右肩上がりに増加し、2023年には過去最高の3568人を記録し、「道迷い」遭難者は、2018年以降、ほぼ横ばいの状態が続いている。

一方で「道迷い」の構成比は2020年の44・0%をピークに減少傾向を示し、2023年は33・7%に低下して

**道迷いと地図アプリ**

日本で登山人口は2009年の約1230万人をピークに減少を続け、2023年に約480万人にまで減りました。ところが山岳遭難は約750人だった1990年ごろを境に右肩上がりに増加し、2023年には過去最高の3568人を記録し、「道迷い」遭難者は、2018年以降、ほぼ横ばいの状態が続いている。

今回、愛知岳連ニュース担当者の方から声を掛けていたとき連載することになりました。

「地図読み」について興味

## 執筆者の紹介

河合芳尚氏は、豊川山岳会のメンバーで、国立登山研修所の安全登山普及指導者中央研修会の読図講師を務めています。コンパスの使い方や地図読みの技術を指導し、登山者の技術向上と安全登山の普及に貢献しています。

## 連載第1回

# 河合芳尚の読図コトナリ

を持つていただけるように掲載していくつもりです。よろしくお願ひいたします。初回は、「YAMAP」VS「ヤマレコ」です。

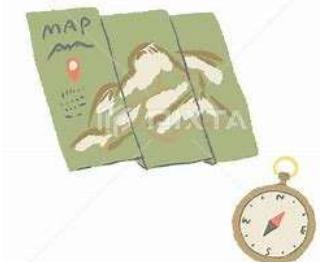
## 「YAMAP」VS「ヤマレコ」

2024年12月に「YAMAP」は足あと機能を追加しました。「この足あと機能はヤマレコ」唯一のものでした。例えば、国土地理院地形図の等高線は正確に書かれていますが、登山道については、正確ではありません。廃道になつたり、そもそも間違つたりします。

足あと機能は、登山者の歩いた軌跡を点で示すもので、登山点の集まりが線となり、登山道になります。したがって、

「ヤマレコ」は①ダウンロード数460万人。②従業員数97名。③ダウンロード件数月2件まで。④ルート逸脱機能有料。⑤平均ペースの閲覧有料。⑥登山計画はスマホのみ作成可能。⑦登山ルートは用意されている登山道のみ設定可能。

「YAMAP」は①130万人。②5名。③月2件(削除すれば無制限)。④ルート逸脱機能無料。⑤無料。⑥スマホ、パソコン両方可能。⑦バリエーションルートも自分で設定可能、と言う違いがあります。



「ヤマレコ」は、ユーチューブの利便性を考えた設計が特徴的で、YouTubeチャンネル「ヤマレコ社長の絶対遭難させないチャンネル」では、安全登山を積極的に呼びかけている。登山者を遭難させたくないという姿勢を強く感じます。

点の集まりが無い登山道は人が歩いていないので注意が必要です。

「YAMAP」と「ヤマレコ」には、それぞれの特徴があります。

「YAMAP」はオリエンテリングの競技ではコンパスが必須ですが、一方で登山者の中にはコンパスを使えない人が多いのが現状です。次回は「コンパスと地図の整置」についてお話ししたいと思います。

**冬山装備のメンテナンス工房 HAREYAMA**

なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。

**冬山装備のメンテナンス アイゼン・ピッケル研ぎます**

株式会社ウォームリンク  
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台1-130  
Tel. 0561-72-2805